## 同梱されているもの

A360パーソナルミキサー本体:

- ユーザーマニュアルなどの資料
- 保証書

別売りのオプション製品:

- Cat-5e/Cat-6 UTP接続ケーブル
- MT-1/MT-1aマイクスタンドマウント
- 電源アダプター
- A-16D /A-16D Pro A-Net ディストリビューター

#### About A-Net

A-Netとは、Aviom社に開発された高速度データ転送規格です。A-Netでは、標準のCat-5ケーブルで 高品質のデジタルオーディオの送受信が可能になります。

# 

A-Netはイーサネットの技術を元に開発をされました。ただし、A-Netデバイスはイーサネットデバイスとの互換性をもちません。

A-Netを使ってデジタルオーディオを転送するメリットは以下の通りです:

- ・低レイテンシ(アナログの入力 出力は常に1ms未満)
- ・グラウンドループが生じない
- ・標準ケーブルを使用する簡単な接続
- ・1つのシステム無限にA-Netデバイスが使用可能
- ・システムコンポーネント間で超距離の接続が可能

Pro-16 A-Netは、2つのバージョンがあります。Pro16 A-Netは16チャンネルのデジタルオーディオを 転送することに対して、Pro64el は64チャンネルのデジタルオーディオを転送します。 どちらのバージ ョンも、ポイント・ツー・ポイントのデジタル規格となります。

Pro16e A-Netデータは、多数のネットワークチャンネルに対応するA360パーソナルミキサー専用となっています。

#### 互換性

A360パーソナルミキサーは以下の通り、Pro16、Pro16e及びPro64 A-Netデバイスと互換性をもちます。

#### Pro16製品

以下のデバイスのA-NET OUT出力端子は、A360パーソナルミキサーのA-NET IN入力端子に接続する ことが可能です。

A-NET IN port:

- AN-16/i v.2入力モジュール
- AN-16/i入力モジュール
- AN-16/i-Mマイク入力モジュール
- AV-M8マイク入力モジュール
- Yamahaのデバイス用Aviom16/o-Y1 A-Netカード
- A-16D及びA-16D Pro A-Netディストリビューター
- A-16IIパーソナルミキサー
- A-16Rラックマウント・パーソナルミキサー
- AN-16/o出力モジュール
- AV-P2出力モジュール
- ・ サードパーティー製のPro16 A-Netデジタル・コンソール・カードA

#### Pro64 製品

Pro64デジタル・スネークもしくはオーディオ・ネットワークにASI A-Netシステムインターフェイスを 加えれば、Pro64チャンネルをPro16データに変換することができます。使用されているPro64のサン プルレートによって、ASIはPro64ストリームの64チャンネルを、最大4つの16チャンネルのPro16出力 に変換します。そのPro16出力はどれも、A360パーソナルミキサーのA-NET IN入力端子への接続が 可能です。その場合、直接な接続も可能ですが、ASIとA360間にA-Netディストリビューターを入れる こともできます。

より多くのチャンネルのミックスシステムを実現するためにA-NetのPro16eバージョンを使う場合は、ASIをAN-16/iv.2入力モジュールのA-NET INに接続することもできます。

## About Category 5

カテゴリー5 (Cat-5) とは、コンピュータネットワークと他のデバイスを接続するための高速度データ転送ケーブル規格です。標準のケーブルは4本のツイスト電線が入っており、RJ45 (オス) コネクターが付いています。カテゴリー5のジャック (メス) との接続が可能です。

最近では、カテゴリー5e (Cat-5e) という改良されたバリエーションが主流になっています。カテゴリー 5と比べて、高速度ネットワークアプリケーションの場合に漏話 (ろうわ)を減少するため、電線のツイス トがより多くあります。ギガビット・ネットワーク・デバイスで良く使われるカテゴリー6及びカテゴリー6e というバリエーションもあります。





RJ45 Jack

Cat-5e Cable

#### 重要

・A-Net関連接続の場合は必ずUTP (アンシールデッド・ツイステッド・ペアー) ケーブルを使ってください。Aviom製品と一緒に使うカテゴリー5eケーブル・コネクターは通常のイーサネットケーブルに似ているものの、絶対にコンピューターやルーターなどのネットワーク機器をAviom製品に接続しないでください。

## Cat-5e Cables

Aviom製品と一緒に標準のカテゴリー5e UTPケーブルを使用することができます。より長いケーブルが 必要になる場合は、コンピューター専門店などで入手可能でしょう。また、電気専門業者などに依頼する と、お好みの長さのケーブルを作成することもできます。

取り付けの場合は、カテゴリー5eケーブルを壁の中に通し、RJ45などの壁用ジャックを取り付けることが可能です。永久取り付けの場合は、単線電線を勧めます。

カテゴリー5eケーブル以外にも、カテゴリー6もしくはカテゴリー6eケーブルの使用が可能です.

重要:カテゴリー5eケーブルをお求めの場合は、標準のカテゴリー5eUTPケーブルを 求めてください(クロスオーバー・ケーブルとして販売されているケーブルではな く)クロスオーバー・ケーブルは2台のパソコン同士のデータ転送で使用されるもの で、Aviom製品との互換性がありません.

標準のRJ45コネクター付きのカテゴリー5ケーブルの他、Neutrik EtherConコネクター付きケーブルを 使用することも可能です Aviom製のPro16デバイスを2つ以上繋げる場合は、約150メートルまでのケーブルを使うことができます。例えば、AN-16/i-Mマイク入力モジュールをAN-16/o出力モジュールに接続するのは、Pro16デバイス同士の接続です。.Pro16 A-Netケーブルの合計長さは最大150メートルまで。

Total Pro16 A-Net cable length: 500 feet (150 meters)



Pro16eデバイスを2つ以上繋げる場合は、より多くのチャンネルのオーディオデータを転送するため、約 122メートルまでのケーブルを使うことができます。Pro16e A-Netケーブルの合計長さは最大122メー トルまでt.

Total Pro16e A-Net cable length: 400 feet (122 meters)



使用可能なケーブルの長さというのは、1つのデバイスのA-NET OUT端子から、次のA-Netデバイス A-NET IN端子までの距離を指しています。

ケーブルのパフォーマンスは幾つかの要因に影響されます。例えば、使用するケーブルの仕様や、使用されているケーブルカプラーやパッシブである壁用ジャックの数などが、ケーブルのパフォーマンスに影響 を与えます。

Cat-5eケーブルとしては、単線でも撚線でも使用可能です。撚線はステージなどで簡単に使用できますが、単線の方が使用可能な距離が少々長くなります。壁や天井への取り付けの場合は、大抵単線が使用されます。

Pro16・Pro16eデバイスと一緒にオプションのAN-16SBRを使用する場合は、ケーブルの長さというと、 パッシブであるAN-16SBRと接続されている両方のアクティブA-Netデバイス同士のケーブルだけでな く、全てのケーブルを合わせた合計の長さを意味します。ケーブルの長さを延長するためにインラインカ プラーを使用する場合も、該当します。

コンピューター専門店などで販売されるケーブルは、様々な長さと色のものがあります。上記の最大長さ を超えない限り、「インラインカプラー」というパッシブなデバイスを使えば、既存のケーブルの長さを 延長することができます。より長いケーブルが必要な場合は、インラインカプラーは簡単な解決となりま す。ただし、インラインカプラーなどのパッシブ接続デバイスを使うことによって最大使用可能なケーブ ルの長さが短くなることがありますので、注意が必要です。.

## ACラインコンディショニング

Aviom製品はデジタルなデバイスであるため、ACラインボルテージの瞬間的なスパイクや降下に対して 敏感です。落雷や停電によるボルテージの変更は、電子機器にダメージを与えることがあります。

機材がACラインボルテージの変動からダメージを受ける可能性を減少するためには、異常電圧から保 護する電源を使用すると良いでしょう。異常電圧から機器を保護するパワー・ディストリビューターもあ ります。

その他の保護オプションの中、ACライン・コンディショナーや電池バックアップシステム (UPSとも呼ばれる) などがあります.

#### 給電

パーソナル・ミキシング・システムを構築する際、A360パーソナルミキサーはA-16D ProなどのA-Netディストリビューターに接続するように設計されています。A-16D Proは最大8個のデバイスのためのパラレルA-Net接続ポート及びDCパワーを供給します。

また、オプションのPS-120DC電源アダプターから給電することも可能です。PS-120は、90□ 240ACに 対応するスイッチングタイプとなっています。

電源を追加したり買い替えたりする場合は、以下の仕様に合うものを勧めます。

Туре	スイッチング	
Input Voltage	90-240 volts	50/60Hz 30VA
Output	24Vdc	0.5A
Polarity	外側 — 内側 +	
Plug Size	2 mm	

重要な点として、DCパワーアダプターのプラグの極性が、Aviom機器用認定のものと合わなければいけません。Aviom製品の電源アダプタープラグは常に内側が+で、外側が-となっています。e.

Power Supply Polarity

## お手入れ

TAviom製品の外側は乾いた柔らかいリントフリーの布を使ってください。頑固な汚れの場合は、水もしくはマイルドな洗剤で湿った布を使ってください。

お手入れの際には、スプレータイプの洗剤を絶対に直接製品にかけないでください。事前に洗剤を噴霧 した布で拭いてください

重要:溶剤や研磨クリーナーをAvion製品のお手入れで使わないでください。

# A360のフロント・パネル

# ミックス・チャンネル



	Function
1	チャンネル・ラベル・ストリップ
2	LED (緑) 付きチャンネルボタン
3	チャンネルミュートLED (黄)
4	Dual Profile Channel™ (デュアル・プロフィール・チャンネル) ボタン
5	デュアル・プロフィール・チャンネル用プロフィール選択ボタン
6	ne-Touch Ambience™ (ワンタッチ・アンビエンス) ボタン及び内蔵マイク

## チャンネル・ラベル・ストリップ

チャンネル・ラベル・ストリップでは、幅13mmのテープ・ラベルを貼ることが可能です。Aviomのホームページから、チャンネル・ラベルのテンプレートをダウンロードすることができます。永久接着剤や永久テープをAviom製品に直接使わないでください。.

## ミックス・チャンネル・ボタン

16の標準ミックス・チャンネル・ボタンは、Pro16もしくはPro16eのステレオリンク設定によって、モノラ ル信号にもステレオ信号にも対応します。チャンネルを選択し編集用にアクティブにするには、16のミッ クスボタンのどれかを押します。そのチャンネルの緑LEDは点灯します。リバーブ、トーン、チャンネルボリ ューム、パン、スプレッド(ステレオチャンネルのみ)及びミュートのコントロールを使って、チャンネルの サウンドを必要に応じて調整します。編集しているチャンネルを単独に聴くには、ソロ機能を使ってくだ さい。詳細は、27ページを参照してください。

A360のリア・パネルの設定がDEFAULTもしくはCUSTOMになっている状態でPro16eの音源を入力す る場合は、ステレオ信号は1つのミックス・チャンネル・ボタンにマッピングされます。ステレオチャンネ ルが選択されていると、黄色の「STEREO」LEDが点灯し、ステレオ位置のコントロールをPANもしくは SPREADに選択可能になります。



#### 2チャンネルが選択されている.

1つの16チャンネルPro16 A-Net入カデバイスと一緒に使う、もしくはA360のリア・パネルのモードス イッチがPRO16に設定されている場合は、ステレオ信号は2つのミックス・チャンネル・ボタン(隣り合 ったボタン同士)にマッピングされます。この場合、どちらかのボタンを押すと、両ボタンのLEDが点灯し ます。ステレオチャンネルのペアをリバーブ、トーン、チャンネルボリューム、パン及びスプレッドのコント ロールを使って編集できます。

16のミックスチャンネルボタンはプリセットミックス保存ロケーションとしても使われます。ミックスプリ セットの保存・リコールの方法は、38ページを参照してください。



チャンネル5-6がPro16入力デバイスによってリンクされている(リア・パネルのモードスイ ッチがPRO16に設定されている).

## チャンネルミュートLED

各標準チャンネル及びデュアル・プロフィール・チャンネルのチャンネル選択ボタンの下には、「MUTE」 LEDが付いています。点灯している場合は、現在のミックスではそのチャンネルがミュートされているこ とを意味します。選択されているチャンネルをミュートするには、MUTEボタンを押します。チャンネル選 択ボタンの下の「MUTE」LEDが点灯します。ミュートされているチャンネルをアンミュートするには、ま ずはチャンネルを選択します(緑のLEDは点灯します)。次に、MUTEボタンを押すと、そのチャンネルの ミュートが外され、もう一度ミックスの中で聞こえるようになります。チャンネルがミュートされていても、 リバーブ、トーン、チャンネルボリューム、パン及びスプレッドの調整は可能です。



チャンネル4及び6は既にミュートされている(アンミュートするには、丸いMUTEボタンを 押す)

ミックスを作成している時は、お好みによって複数のミックスチャンネルをミュートすることができます.

P TP: 全てのミックスチャンネルを一時的にミュートするには、MUTEボタンをダブルクリックします。MUTEボタン及びそれぞれのチャンネルボタンの黄色いLEDは点滅します。もう一度MUTEボタンを押すと、前の状態に戻します。アンビエンスチャンネルは影響されないので、内蔵マイクを使うことが可能です。「全チャンネルをミュート」機能を使う前にミュートされていたチャンネルは、前の状態に戻す時にミュートされたままになります。

## デュアル・プロフィール・チャンネル

Dual Profile Channel™は、2つのパターンで設定可能なパワフルな機能です。1つ目に、いずれかのミ ックスチャンネルボタンとして設定することによって、演奏者が重要なチャンネルを素早く選択すること ができます。2つ目に、A360のMODEスイッチがCUSTOMになっている場合は、A360の「チャンネル マネージャー」ソフトウェアを使って、デュアル・プロフィール・チャンネルを17つ目のミックスチャンネル (モノラルもしくはステレオ)としてアサインすることが可能です。リア・パネルのMODEスイッチの詳細 は、45ページを参照してください

デュアル・プロフィール・チャンネルには、名前の通り、A・Bとして保存可能2つのチャンネルプロフィー ルがあり、それぞれにリバーブ、トーン、チャンネルボリューム、パン・スプレッドを別々で設定可能です。 これによって、演奏者が2つのシナリオに合った設定を保存し、ボタンを1つ押すだけでリコールするこ とができます。 例えば、歌手はソロボーカル用及びアンサンブル用という2つのパターンの設定ができ るし、ドラマーはクリックトラックを2つのパターンのレベルでデュアル・プロフィール・チャンネルを設定 することができますe.



デュアル・プロフィール・チャンネルが12チャンネルをミラーするようにアサインされてい ます (プロフィールBが選択されています).

デュアル・プロフィール・チャンネルは、DUAL PROFILE CHANNELボタン、ミラーしているチャンネルの 選択ボタン (PRO16もしくはDEFAULTモードの場合)、もしくはA・Bプロフィールボタンを押すことによって選択します。

#### プロフィールと共に保存されるもの/

A・Bプロフィールそれぞれ、全てチャンネル設定を保存します。以下のものを含みます:

- チャンネルボリューム / リバーブレベル/ トーンレベル
- ステレオチャンネル用スプレッドの位置
- モノラル・ステレオチャンネル用パンの位置

チャンネル設定の変更はいつでもできます。ただAもしくはBボタンを押し、好きなように編集を行いま す。他のチャンネルが選択されている場合は、A・Bはショートカットとして機能され、デュアル・プロフィ ール・チャンネルを選択し、編集可能にします。. A360でグループを作成している場合はデュアル・プ ロフィール・チャンネルを使用することができません。同様に、既にグループに含まれるチャンネルをミ ラーとしてデュアル・プロフィール・チャンネルにアサインすれば (PRO16もしくはDEFAULTモードの場 合)、そのチャンネルがグループから外されます。グループの作成・使用の詳細は、28ページを参照してく ださい。.

#### チャンネルミラーの設定

A360のリア・パネルのMODEスイッチがPRO16もしくはDEFAULTになっている場合は、16ミックスチャンネルをどれもデュアル・プロフィール・チャンネルにアサインし、デュアル・プロフィール・チャンネルの ボタンをそのチャンネルを選択するショートカットとして使うことができます。

標準のミックスチャンネルをデュアル・プロフィール・チャンネルにミラーとしてアサインするには

- ① A360のリア・パネルスイッチをPRO16もしくはDEFAULTモードにします
- DUAL PROFILE CHANNELボタンを長押しします

③ DUAL PROFILE CHANNELボタンを押したまま、1~16どれかのミックスチャンネルボタンを一回押 します

④ DUAL PROFILE CHANNELボタンから指を離します

ー旦アサインすると、DUAL PROFILE CHANNELボタンを押すと、ミラーされているチャンネルのLEDも 点灯します。同様に、デュアル・プロフィール・チャンネルにアサインしたミックスチャンネルを選択する と、ミックスチャンネルのLEDもデュアル・プロフィール・チャンネルのLEDも同時に点灯します。ミラー されているチャンネルのミックス設定はA・Bプロフィールにコピーされ、そこから編集可能となります。

いずれかのプロフィールを編集するには:

① DUAL PROFILE CHANNEL、もしくはミラーしているミックスチャンネル、を選択します(緑のLED が点灯します)

 ② A・Bプロフィールのどちらかを選択します(Aプロフィールは緑のLEDが付いており、Bプロフィール には赤のLEDが付いている)

③ 好きなようにリバーブ、チャンネルのトーン、チャンネルボリューム及びパン・スプレッドを調整します。A・Bプロフィールが切り替わっても、それぞれに設定が記憶されます。注意:スプレッドはステレオ信号のみの場合に調整可能です。

ミックスプリセットを作成する際には、デュアル・プロフィール・チャンネルの「ミラーアサインメント」は 保存されないものの、A・Bプロフィールのチャンネル設定は保存されます。従って、ミックスプリセットを 保存してからデュアル・プロフィール・チャンネルのミラーアサインメントを変更すると、ミックスプリセッ トの設定はAプロフィールのみにリコールされます。Bプロフィールの設定は初期の値になります。

#### デュアル・プロフィール・チャンネルをミックス・チャンネルとして使う

A360のデフォルト・モードのマッピングより洗練されたカスタム・モードの機能によって、各パーソナル ミキサーのチャンネルアサインメントを演奏者のニーズに合わせてカスタム化することができます。これ は、3つ□ 4つの入力デバイスを使用し、32チャンネル以上の入力(もしくは16のモノラル・ステレオ音 源の組み合わせ)ネットワークを構築する場合を始め、大変パワフルな機能となります。

「A360チャンネル・マネージャー」のソフトウェアで作成されたチャンネル・コンフィギュレーションには、デュアル・プロフィール・チャンネルにマッピングされたネットワークスロットを含むことも可能です。 このコンフィギュレーションがA360にロードされ、リア・パネルのモードスイッチがCUSTOMに設定されると、デュアル・プロフィール・チャンネルはパワーフルな17個目のミックスチャンネルとして機能します。

A360 Channel Button	Stereo	Link	Slot Assignme	nt	Status	
1	Mono	Stereo	1	•	OK	
2	Mono	Stereo	2	•	OK	
3	Mono	Stereo	5/6		OK	
4	🔘 Mono	Stereo	7/8	*	ок	110
5	Mono 🖉	Stereo	35/36	•	ок	
6	Mono	Stereo	17		OK	
7	Mono	Stereo	40	•	OK	
8	O Mono	Stereo	15/16	•	OK	
9	Mono	Stereo	37	•	ОК	
10	Mono	Stereo	<mark>19/20</mark>	•	OK	
11	🔘 Mono	Stereo	21/22	•	OK	
12	Mono	Stereo	23/24	*	OK	5
13	Mono	Stereo	18	•	ок	
14	Mono	Stereo	27/28		OK	
15	Mono	Stereo	29/30	•	OK	
16	Mono Mono	Stereo	31/32	+	OK	
Dual Profile Channel	Mono	Stereo	3/4	•	ОК	
Ambience	Mono	Stereo	Onboard Mic	-	OK	

A360 Channel Manager

A360チャンネル・マネージャーソフトウェアの画面で、デュアル・プロフィール・チャンネルがカスタム・ チャンネル・マッピングを使用していることがわかります

1つのシステムにA360パーソナルミキサーを複数使用する場合は、各A360のデュアル・プロフィール・ チャンネルに別のネットワークスロットをアサインすることが可能です

## One-Touch Ambience<sup>™</sup>(ワンタッチ・アンビエンス)

インイヤーのモニターをステージで使用したり、また、ヘッドホンをスタジオで使用したりすると、他の演奏者とのコミュニケーションが困難になり、観客の反応が聞こえにくい、という懸念があります。インイヤ ーモニターなどを演奏中に外すのは、あまり現実的ではありません。ただ、1つの解決策として、周辺音 をモニターミックスに加えるためにマイクを使用することができます。A360では、これは可能です。内蔵 マイクも使用でき、予め設定されたルームマイクを「アンビエンス・チャンネル」にアサインすることもで きます。ボタンを1つ押すだけで、周辺音を入れたり消したりすることができます。.

#### 内蔵マイク

One-Touch Ambience<sup>™</sup>機能の1つとして、A360パーソナルミキサーにマイクが内蔵しています。このマ イクによって演奏者が簡単に周辺音を自分のミックスに加えることによって、リハーサルなどの最中に他 の演奏者とコミュニケーションをとることができます。マイクはスピーチ用に設計されています。

Ambienceのボタンは一回押すだけで内蔵マイクをON/OFFにします。ONになっている時は、ボタンに 緑のLEDが点灯します。.



緑のLEDが点灯しているというのは、内蔵マイクがONになっていることを示します.

**P** WARNING:

マイクのレベル及びマスターボリュームのレベルが高く設定されていると、ハウリングが発生 する恐れがあります。ステージでモニタースピーカーの近くで使用する時や、演奏後にインイ ヤーモニター・ヘッドホンを外す時には、注意が必要です。用心として、インイヤーモニター・ ヘッドホンを外す前に、アンビエンスのマイクをOFFにする、もしくは、MASTER VOLUMEを 下げることを勧めます。

#### アンビエンスレベルの設定

ワンタッチ・アンビエンスのレベルを調整するには:

① AMBIENCEボタンを長押しします。LEDが点灯します。

② 一秒程度で、チャンネルボリュームのLEDが点滅し、現在のレベルが表示します。レベルがないよう に表示されている場合は、アンビエンスレベルがゼロになっていることを意味します。

③ AMBIENCEボタンを押したまま、CHANNEL VOLUMEノブを回すことでレベルをお好みに調整しま す。チャンネルボリュームの赤いLEDが常に現在のレベルを表します。

④ レベル調整を完了したら、AMBIENCEボタンから指を離します。

レベルを調整している間には、トーン、リバーブ、パンやアクティブチャンネルのLEDは、全て消えます。 ワンタッチ・アンビエンスのレベル及びON/OFF状態は、ミックスプリセットの一部として保存されま す。.



Ambienceボタンを押したままでCHANNEL VOLUMEノブでレベルを調整します

#### ワンタッチ・アンビエンスでネットワーク・オーディオを使う

デュアル・プロフィール・チャンネルと同様に、A360のデフォルト・モードのマッピングより洗練された カスタム・モードの機能によって、各パーソナルミキサーのチャンネルアサインメントを演奏者のニーズに 合わせてカスタム化することができます。リア・パネルのモードスイッチがCUSTOMに設定されると、ワ ンタッチ・アンビエンスにPro16e A-Netストリームの(最大)64チャンネルのどれかをアサインするこ とが可能です。デュアル・プロフィール・チャンネルにネットワークオーディオがアサインされているかど うかはともかく、ワンタッチ・アンビエンスにアサインすることが可能であり、A360で使用可能な音源( ステレオ・モノラル)が18となります。.

P Note: 各ミックスチャンネル、デュアル・プロフィール・チャンネル及びワンタッチ・アン ビエンスそれぞれのカスタム化されたチャンネルマッピングがユニークでなければな りません。2つのチャンネルに同じマッピングはできないので、カスタム・モードで 同じネットワークスロットが複数のボタンにアサインされるということは不可能です

	Current Config	guratio	on: 06			
A360 Channel Button	Stereo Link		Slot Assignm	ent	Status	
1	🔘 Mono 🛛 🥥 S	tereo	3/4	-	ок	
2	🔘 Mono 🛛 🔘 S	tereo	5/6	•	OK	
3	🖲 Mono 🔘 S	tereo	7	•	ок	
4	🖲 Mono 🔘 S	tereo	8	*	ок	100
5	🔘 Mono 🛛 🔘 S	tereo	21/22	+	ОК	
6	🔘 Mono 🛛 🥥 S	tereo	25/26		ОК	
7	🔘 Mono 🛛 🥥 S	tereo	33/34	•	ок	
8	🖲 Mono 🔘 S	tereo	13	•	OK	
9	🔘 Mono 🛛 🔘 S	tereo	23/24	-	ок	
10	🔘 Mono 🛛 🔘 S	tereo	19/20	•	ок	2
11	🖲 Mono 🔘 S	tereo	1	-	OK	
12	🖲 Mono 🔘 S	tereo	2	•	ок	5
13	🖲 Mono 🔘 S	tereo	18	•	ОК	
14	🖲 Mono 🔘 S	tereo	9		ок	
15	Mono O S	tereo	10	•	ок	
16	🔘 Mono 🛛 🥥 S	tereo	31/32	•	ок	
Dual Profile Channel	🔘 Mono 🛛 💿 S	tereo	11/12	•	OK	
Ambience	🔘 Mono 🔘 S	tereo	47/48	+	OK	

A360チャンネル・マネージャー・ソフトウェアの画面で、Ambienceがカスタム・チャンネル・マッピングを使用していることがわかります.

ワンタッチ・アンビエンスが一旦ネットワーク・オーディオのチャンネルとしてアサインされると、内蔵マ イクのミックス設定に限定されます。その場合は、チャンネルボリュームのみが調整可能で、リバーブ、ト ーン及びパン・スプレッドは調整不可能となります。16ページの説明を参照してください。ネットワークの オーディオにアンビエンス・チャンネルをアサインするのは、例えば観客の上に設置されたマイクからの 信号をパーソナルミキサーに入力したい、などの時に大変便利です。正確に設定・設置されたマイクの信 号をインイヤーなどのミックスに加えると、演奏者のモニタリング環境に演奏自体だけでなく、拍手など 観客の反応も含むことができます。

A360の内蔵マイクを使って観客の音を各モニターミックスに加えることは一応可能ですが、ステレオの ルームマイクと比べると、アンビエンスと音場を忠実にとるための設置が大変困難です。演奏者全員が全 く同じアンビエンスの信号を聴く必要がある場合は、内蔵マイクを使用するのは尚更難しいです。この用 途だと、一定の場所にオーディオエンジニアに丁寧に設置されたマイク(特にステレオペア)を使用すれ ば良いでしょう。

マイクをステージ上の左・右側の設置(上の図)、もしくはステージ真ん中の上にXYステレオペアとしての 設置(下の図)によって、各パーソナルミキサーにホールに背景音及び観客の反応音を加えることができ ます



# チャンネル・コントロール・セクション

各ミックスチャンネルには、リバーブ、トーン、ボリューム及びパン・スプレッドの設定が 可能です。.



	Function
1	リバーブノブ及びLED
2	トーン(低音・高音)ノブ及びLED
3	チャンネルボリュームノブ及びレベルLED
4	パンノブ及びLED
5	ステレオLED
6	スプレッドボタン

# チャンネル・コントロール

各チャンネルのコントロール機能は、16ミックスチャンネルのいずれか(もしくはデュアル・プロフィー ル・チャンネル)が選択されている時に、使用可能となります。全てのチャンネル設定はミックスプリセッ トと共に保存されます。



ボリューム、パン、トーン及びリバーブが各ミックスチャンネルで設定可能.

## リバーブ

リバーブは、ミックスに立体感を与えるために、各ミックスチャンネル(もしくはデュアル・プロフィール・ チャンネル)にかけることが可能です。リバーブを少しかけるだけで、インイヤーヘッドホンを使用する 歌手や管楽器のミュージシャンにとって、より自然で好ましいモニターミックスを実現することができま す。

リバーブをかけるには、対象のチャンネルを選択してからREVERBノブ時計回りに回します。現在のリバ ーブレベルは赤いLEDで示されます。LEDには、「低」及び「高」を表すため、2つの明るさがあります。 各LEDはまず薄く点灯し、レベルを上げると明るく点灯します。常に1つのLEDだけが明るく点灯してい ます。

A360パーソナルミキサーのリバーブのアルゴリズムは予め固定されており、簡単に使えるモニタリング用 ツールとして設計されています。そのため、編集可能なリバーブパラメーターはありません。

## トーンコントロール(ベースとトレブル)

各ミックスチャンネル及びデュアル・プロフィール・チャンネルには、トーン (ベースとトレブル) コントロ ールがあります。これによって、各チャンネルのEQ (低周波数及び高周波数) を調整し、より好ましいミ ックスを実現することができます。ライブモニタリング用の「強調のみ」 のイコライザーであり、低音・高 音それぞれを12段階で強調することが可能です。低音・高音のどちらかを強調することができますが、 両方を同時に強調することはできません。また、低音・高音を減少することはできません。 選択されているチャンネルのトーンコントロール設定はトーン用LEDで示されます。デフォルト設定(フラット) は、真ん中の緑のLEDで示されます。.

選択されているチャンネルのベースを強調するには、TONEノブを左に回します。強調のレベルを詳細に示すために、それぞれのLEDに二段階の明るさで点灯します。また、ベースの強調を無くすには、TONEノブを右に回します。真ん中の緑LEDが点灯すると、強調がないフラットな状態に戻ったことを示しています。

同様に、トレブルを強調するには、TONEノブを右に回します。緑LEDの右にある赤いLEDが点灯します。トレブルの強調を無くすには、真ん中の緑LEDが点灯するまでTONEノブを左に回します。

ベース・トレブルの強調はチャンネル毎のコントロールであり、全体のデジタルミックスの一部です。従って、強調し過ぎると音質が下がり、クリッピングを起こす可能性があります。クリッピングを起こした場合は、ミキサーチャンネルコントロールの左側にあるDigital Signal/Clip LEDが点灯します

#### チャンネルのボリューム

ミックスの各チャンネルのレベルがCHANNEL VOLUMEノブに調整され、ノブの隣にある12個のLEDで示されます。

チャンネルのレベルを調整するには、対象のチャンネルを選択し、CHANNEL VOLUMEノブを回します。赤い LEDによって、現在のボリュームが示されます。リバーブ及びトーンのLEDと同様に、ボリュームのLEDにも、「 低」及び「高」を表す2つの明るさがあります。各LEDはまず薄く点灯し、レベルを上げると明るく点灯します。 常に1つのLEDだけが明るく点灯しています。

チャンネルを無音にするには、全てのLEDが消灯するまで、CHANNEL VOLUMEノブを左に回します。一時的に チャンネルを無音にするには、Muteボタンを押します。.



各チャンネルのレベルをCHANNEL VOLUMEコントロールを使ってレベルを調整する

各16ミックスチャンネル、デュアル・プロフィール・チャンネル及びアンビエンスそれぞれのチャンネルボリューム設定は、各ミックスプリセットと共に保存されます

## ステレオ・イメージ

A360パーソナルミキサーでは、ミックスの各チャンネルにユニークなパンニングコントロールが付いて います。全ての音源を、他のチャンネルを使用せずに、完全なステレオで聴くことができます。これによ って、インイヤーなどのステレオヘッドホンを使用している演奏者のために、よりリアルなモニターミック ス環境が実現されます。ステレオ音源を使用することによって、各チャンネルが正確にステレオ・イメー ジの中に存在し、低レベルでもクリアで正確なミックスを提供してくれます。.

P:パンのコントロールはMONO MIX OUTに影響を与えません.

#### モノラル・チャンネル

パンニングのコントロールは、ステレオ音場の中で、選択されているチャンネルの位置を調整します。モ ノラル信号が真ん中にある場合は1つの緑色のLEDで示され、それ以外の位置(左・右)の場合は、1つ もしくは2つの赤いLEDで示されます。モノラルチャンネルが選択されている場合は、黄色いSTEREOの LEDは常に消灯しており、スプレッドの機能が使用不可能になります。この状態でSPREADボタンを押 せば、使用不可能ということを表すように、エラーメッセージとして黄色いLEDが点滅します。





モノラルチャンネルのデフォルト位置 (左) 及びパンニングされたモノラルチャンネル( 右)

Tモノラルチャンネルの位置を調整するには、PANノブを左もしくは右に回します。パンのLEDに も、「低」及び「高」を表す2つの明るさがあります。 選択されているチャンネルをデフォルトの位置に戻すには、Stereo Placementの緑LED(真ん 中)が点灯するまでPANノブを回します.

#### ステレオ・チャンネル

A360の各チャンネルボタン (デュアル・プロフィール・チャンネルを含め) は、モノラル・ステレオのチャンネルとも、アサインすることができます。これによって、ユーザーにとって操作が簡単になります。例えば、ピアノ、ドラムのサブミックスもしくはギターFXプロセッサーのL・Rステレオ出力は、ボタンを一回押すだけで選択することができます。チャンネル数を節約するために無理矢理ステレオ音源をモノラルにすることなく、モニターミックスの中でステレオ音源をステレオのままで聴くことが可能です。

ステレオ信号の設定方法は、A360パーソナルミキサーに信号を送るPro16・Pro16e入カデバイスの Stereo/Mono Linkスイッチを使って、2つのチャンネルを1つのステレオペアにします。A360では、受 信するA-Netの2つのバリエーションによって、ステレオチャンネルの対応が異なります。Pro16では、チ ャンネル数が最大16チャンネルで固定されています。ただし、Pro16eでは、最大4つの入力デバイスか ら最大64チャンネルが受信可能です。そのチャンネルを、A360の16個のチャンネルボタン、デュアル・ プロフィール・チャンネル及びアンビエンスボタンに、アサインすることができます

#### Pro16入力デバイスを使う

1つの16チャンネルPro16入力デバイス (AN-16/i、AN-16/M、Y1 A-Net Card for Yamaha□、Pro16 A-Net技術を使用するコンソールカードなどを含む)をA360パーソナルミキサーに接続すると、ステ レオチャンネルが隣り合ったチャンネル同士でペアとしてマッピングされます。奇数・偶数である隣り 合ったチャンネルペアが1つとして作動します。例えば、Y1 A-Netカードで3□4番入力をリンクすれ ば、A360ミキサーチャンネルの3・4どちらかを押せば、両チャンネルが同時に点灯します。A360の 「STEREO」LEDも点灯し、SPREADボタンを押せばスプレッドの機能も使用可能です。

上記の用途には、リア・パネルのモードスイッチをPRO16に設定する必要があります。

#### Pro16e入力デバイスを使う

ネットワークへの入力として1つ以上のPro16e入力デバイス(例えばAN-16/i v.2)を使う場合は、入力 デバイスのmono/stereo linkスイッチがstereoに設定されている限り、ステレオ信号は1つのA360チ ャンネルボタンにマッピングされます。32□ 64チャンネルの入力を得るために複数の入力デバイスを使 う場合は、これは大変便利な機能です。上記のPro16入力デバイスの例と同様に、A360の「STEREO」 LEDが点灯し、SPREADボタンを押せばスプレッドの機能も使用可能です。A360が32以上の入力チ ャンネルを含むPro16e信号を受信する場合は、リア・パネルのモードスイッチをDEFAULTもしくは CUSTOMに設定する必要があります。

1つのAN-16/i v.2入力モジュールを使って16未満の入力チャンネルのミックスシステムを構成する場合は、偶数のモノラルチャンネルが検知されるように、リア・パネルのモードスイッチをPRO16に設定しなければ行けません。重要な点として、DEFAULTモードでは、A360がAN-16/i v.2の奇数+偶数チャンネルペアを「ステレオL・R」として見す一方、MONOモードでは、A360が上記ペアのR(右)入力チャンネルを無視することになります。

※ 1つ以上のAN-16/iv.2を使って複数の入力デバイスからシステムを構成する場合は、A-Netの Pro16ストリームを出力するいずれかのデバイスからも、ミックスの最初の16チャンネルをとることがで きます。例えば、AN-16/i、AN-16/i-M、AV-M8、Y1 A-Netカード、Pro16 A-Net技術を使用するコンソ ールカード及びPro64 ASI A-Netシステムインターフェイスなどのデバイスは全て、Pro16ストリームを 出力することが可能です。.

## パンニング及びスプレッド

A360での「スプレッド」とは、ステレオチャンネルの左・右間の距離感(幅)を表現する機能です。ステレオ信号の場合のデフォルト設定は「フル」(極左・極右)です。.



ステレオ信号のデフォルトスプレッド

ステレオチャンネルのスプレッドを変更するには、SPREADボタンを押します。黄色のLEDが点灯します。この状態でPANノブを左に回すと、L・R音場の幅を狭めます。点灯している赤いLEDが、音場の幅を示します。そのままPANノブを左に回し続けると出力がモノラルになり、真ん中のLEDだけが単独に点灯します。

P:ステレオ信号がスプレッド機能によってモノラルになった場合でも、「Stereo」LED及び 「Spread」LEDは消灯しません。



ステレオチャンネルのスプレッドが狭められた例(左)及びモノラルにされた例(右).

#### ステレオ・チャンネルのパンニング

ステレオチャンネルも、PANコントロールを使うことによってL・Rのパンニングを調整することができます。インイヤーなどのヘッドホンで、ステレオでモニタリングをしている場合には、大変便利な機能です。

ステージやスタジオでそれぞれの楽器の実際の位置に合わせてステレオチャンネルのパンニングを調 整すれば、よりリアルなモニターミックスを実現できます。また、音量だけでなく、パンニングでそれぞれ チャンネルを区別するとモニターミックスがよりクリアで立体感のあるものになります。

以下の図では、ステレオミックスの中でステレオパンニングを使用する場合の効果を表しています。



↑3つのステレオチャンネルがそれぞれ違う位置にパンニングされています



ステレオスプレッド+パンニングの効果を表しています。ステレオドラムのスプレッドを少し狭めること によって、全体のステレオイメージがよりはっきりしたものになります。

ステレオチャンネルをパンニングするには、まずはSPREADボタンのLEDが点灯していないことを確認 し、PANノブでチャンネルの位置を好きなように調整します。SPREADボタンのLEDが点灯している場合 は、一度SPREADボタンを押すことでLEDを消灯させてからPANを調整してください。

PANノブを左・右に回し続けると、ステレオチャンネルが徐々にモノラルに変換されます。そのチャンネルを選択している間に、PANノブを反対方向に回すことによってステレオのスプレッドを徐々に戻すことができます。チャンネルがモノラルに変換されたままで別のチャンネルを選択すれば、元のチャンネルのスプレッドがモノラルとして固定されます。ステレオに戻すには、再度元のチャンネルを選択してから、SPREADボタンを押し、好きなようにスプレッドの調整を再び行います。t.

# 編集コントロール・セクション

このセクションでは、ミュート、ソロ、グループ、「全チャンネルトリム」及び「Digital Signal/Limit」 LEDがあります。.



機能		
1	「Digital Signal/Limit」 LED (緑・赤)	
2	Soloボタン	
3	Muteボタン	
4	Groupボタン	
5	Trim All (MuteボタンとGroupボタンを同時に押す)	

## **Digital Signal/Limit**

A360では、デジタル信号のヘッドルームを最大化しクリッピングを最小化するために、リミターが付いています。ひずみのない高音質のミックスを実現するために、「デジタル信号・リミター」の緑/赤のLED も付いています。LEDは普段、緑に点灯します。ただし、各チャンネルのレベルが上がると、リミターが作動し、LEDは赤に点灯します。

LEDは頻繁に赤く点灯する場合は、ミックスのヘッドルームが少ないことを意味します。その場合、Master Volumeを下げてもクリッピング・ひずみを減らすことになりません。なぜなら、マスターボリュームはクリッピング・ひずみが起きる段階の後のオーディオだけを影響するからです。有利な対策としては、マスターボリュームではなく、TRIM ALL (全チャンネルトリム)機能を使用することで、全てのチャンネルのレベルを同時に下げることができます。

## 「Solo」ボタン

ミックスの中で各チャンネルのレベルを変えずに1つのチャンネルだけを聴くには、SOLOボタンを押し ます。SOLOボタンを押すと、緑のLEDが点滅します。「Solo」LEDが付いている状態でいずれかのチャン ネルを選択すれば、単独に聴きながら、お好みにボリューム、リバーブ、トーン、パン・スプレッドの設定を 調整することができます。また、別のチャンネルボタンを押せば、そのチャンネルをソロにし、元のチャン ネルを無音にします。ソロモードでは、1つのチャンネルだけを聴くことができます。ソロモードを解除す るには、もう一度Soloボタンを押します。LEDが消灯し、A360が通常のミックス状態に戻ります。



Tソロモードになっている間には、他の機能は以下のように影響されます

- ・ ソロになっているチャンネルのMuteボタンは使用不可能になります
- Groupボタンは使用不可能になります
- Trim All機能 (Muteボタン+Groupボタンを同時に押す) は使用不可能になります
- ・ 標準のミックスのプリセットの保存及びリコールは不可能になります
- Instant Mix Recallボタンをどれか押すと、ソロモードを解除し、選択ミックスプリセット をロードします
- Ambienceチャンネルにはソロモードが機能しません.

## 「Mute」ボタン

あるチャンネルのボリュームを調整せずに無音にするには、ミュートの機能を使用します。ミュートとは、 ミックスから簡単にチャンネルを一時的に無くす機能です。ミックスプリセットを保存する際には、各チ ャンネル (デュアル・プロフィール・チャンネルを含め)のミュート状態も一緒に保存されます。複数のチ ャンネルを同時にミュートすることも可能です。ワンタッチアンビエンスのチャンネルは演奏同士のコミ ュニケーションで使用されるため、ミュートの対象にはできません。

あるチャンネルをミュートするには、MUTEボタンを押します。MUTEボタンの黄色のLEDも対象のミック スチャンネルの黄色のLEDも点灯します。ミュートになっていても、チャンネルを編集することは可能で す。ミュートされていないチャンネルを選択すると、MUTEボタンのLEDが消灯します。

チャンネルをアンミュート(ミュートを解除)するには、まずは対象のチャンネルを選択します。MUTEボ タンの黄色のLEDが点灯しているはずです。MUTEボタンを押すと、MUTEボタンLEDとも対象のチャン ネルのLEDとも、両方消灯します。ミュートのLEDの詳細は、11ページを参照してください。.

#### 「Group」ボタン

グループの機能を使うことによって、複数のチャンネル(モノラルもしくはステレオ)を組み合わせて、より簡単にボリュームをコントロールすることが可能になります。例えば、5つのボーカルチャンネルをグル ープ化すると、それぞれの相対レベル及びパンニングを保ちながら、グループ全体のレベルを調整するこ とができます。

A360パーソナルミキサーの各ミックスプリセットには、ユーザー設定可能なグループが4つあります。デフォルトとしては、グループは設定されていません。グループの中では、16のモノラル・ステレオのチャンネルからどんなコンビネーションも可能ですが、各ボタンは1つのグループにしか所属できません。デュアル・プロフィール・チャンネルをグループに含めることはできず、また、デュアル・プロフィール・チャンネルを選択している間にはグループの設定は不可能となります。

#### グループの設定

グループを設定するには:

- ① いずれかのミックスチャンネルを選択します (デュアル・プロフィール・チャンネルを除く)
- ② GROUPボタンを押し、A360をグループ編集モードにします

 グループに含めたい1つ目のミックスチャンネル(1016)を選択します。そのチャンネルのLEDは 点灯します。

④ チャンネルのリバーブ、トーン、ボリューム及びパンニングを好きなように調整します

⑤ ミックスチャンネルのボタンをダブルクリックし、グループに追加します。加えた各チャンネルの LEDは点灯します。必要に応じて、チャンネルのコントロールを調整します。既にグループに含んでいる 他のチャンネルのLEDは点滅します。

⑥ LEDが点灯しているチャンネルをダブルクリックすると、そのチャンネルを現在のグループから除き、新しいグループの最初のチャンネルとして選択します。元のグループは保たれており、それに属してい

るいずれかのチャンネルのボタンを押すことによって、元のグループを選択できます。

⑦ 現在選択されていないミックスチャンネル (LEDが点滅している状態) をグループから除くには、そのチャンネルのボタンをダブルクリックします

⑧ グループに属させたい最後のチャンネルを追加し調整してから、もう一度GROUPボタンを押し、グループ編集モードを終了します。グループはミックスの中で使用可能になります。To remove a mix

A360でPro16モードを使用している場合は、隣り合った奇数・偶数チャンネルがリンクされ、ステレオペアとして扱われます。1つのステレオチャンネルの左もしくは右のチャンネルボタンをダブルクリックすると、そのステレオペアはグループから除かれます。.



例:2、4、5、6及び8チャンネルがグループ化されています。CHANNNEL VOLUMEノブで グループのボリュームを調整します。.

デュアル・プロフィール・チャンネル (及びPro16モード・デフォルトモードの時にデュアル・プロフィー ル・チャンネルにミラーとしてアサインされたチャンネル) は、グループの中に含めることはできません。 デュアル・プロフィール・チャンネル (もしくはミラーチャンネル) をグループに入れようとすると、エラー 警告としてグループボタンのLEDが速く点滅します。その場合は、別のチャンネルで再び操作してください。

#### グループでミキシングを行う

グループの設定を一旦行った後、グループに属しているいずれかのチャンネルボタンを押すと、属している全てのチャンネルボタンのLED及びグループボタンのLEDが点灯します。A360のCHANNEL VOLUMEノブを使って、選択されているグループのレベルを調整します。MUTEボタンを押すとグループ に属している全てのチャンネルがミュートされ、同様にSOLOボタンを押すと、属している全てのチャンネ ルがソロされます。

1つのミックスの中で、最大4つのグループを作ることができます。ボリューム及びミュートの状態も含め るグループ設定は、ミックスプリセットと一緒に保存されます。ミキシングを行っている最中にグループ を選択すると、リバーブ、トーン及びパンニングのコントロールが利用不可能になります。この設定は、グ ループ編集モードのみで変更可能です。以下の説明を参照してください。

#### グループを編集する

グループに属するチャンネルを一旦決めた後でも、各チャンネルの設定はまだ編集可能です。編集する には:

① 編集したいグループに属しているいずれかのチャンネルのボタンを押し、そのグループを選択します。そのグループのLEDが点灯します。

② GROUPボタンを押し、グループ編集モードを選択します。そのグループのLEDが点滅します。

③ グループのチャンネルの内の1つが点灯し、その他のチャンネルのLEDが点滅します。 点灯するチャンネルは、現在編集用に選択しているチャンネルです。

④ 編集したいチャンネルのボタンを押します。LEDが点灯し、他のチャンネルのLEDが点滅します。

⑤ 選択したチャンネルのボリューム、リバーブ、トーン及びパンニングを、好きなように調整します

⑥ 必要に応じて他のチャンネルも選択し、好きなように調整します

⑦ チャンネルボタンをダブルクリックすることによって、チャンネルを加えたり除いたりします。既に他のグループに属しているチャンネルを加えると、そのチャンネルが元のグループから除かれます。

⑧ 編集を完了した時に、再びGROUPボタンを押します。そのグループがミックスの中で使用可能になります。



例:5チャンネルのLEDが点灯していることから、グループの中で編集可能だということがわかります.

#### ステレオリンク及びグループ

Pro16モードでグループの中でステレオチャンネルを使用している場合には、以下のルールが該当します.

- ステレオペアを組んだ時に片方のチャンネルが既にグループに属している場合は、ペアのもう1つのチャンネルも同じグループに追加されます。
- ステレオペアを組んだ時に両チャンネルが別のグループに属している場合は、ステレオペアの右チャンネル(偶数)が現在のグループから除かれ、左チャンネル(奇数)と同じグループに追加されます。
- 隣り合った2つのチャンネル(奇数・偶数のペア)のみが1つのグループに属しており、入 カデバイスでステレオリンクが設定されると、そのグループが解除され、2つのチャンネ ルが1つのステレオミックスチャンネルになります。
- ステレオリンクによって1つのチャンネルがあるグループから除かれ、そのグループに1 つのチャンネルのみが残る場合は、そのグループは解除されます(グループに2つ以上の チャンネルが必要なので)。
- あるグループに1つのチャンネルのみが残るように他のチャンネル(モノラルもしくはステレオ)が除かれると、そのグループは解除されます。その場合は、残りの1つのチャンネルが通常に作動します。

## 「全チャンネルをトリム」機能

「全チャンネルをトリム」機能とは、ボタンを1つ押すだけで全チャンネルの音量を一定のdBで下げるこ とができる機能です。赤いDigital Signal/LimitのLEDが点灯し続ける状態の場合や、編集しているチャ ンネルがすでに最大のレベルになっていて相対的に更に上げたい場合などに、「全チャンネルをトリム」 機能を使用すると便利です。

「全チャンネルをトリム」を使用するには、MUTEとGROUPボタンを2つ同時に押します。一回押す度 に、全チャンネル (アンビエンスも含め)のレベルが3dBずつ下がります。チャンネルがソロになっている 場合には、「全チャンネルをトリム」 機能は使用できません。



全チャンネルのレベルを3dBで下げるには、MUTEとGROUPを同時に押します.

ー旦ミックスを必要なレベルまでトリムを行ってから、必要に応じてミックスを調整し続けることができます。変更を保存するには、ミックスをミックスプリセットとして保存します。上記のように「全チャンネルをトリム」を使用した後に、低くなったミックス全体のレベルを、MASTER VOLUMEで必要に応じて調整します。





「全チャンネルをトリム」を使用した後の6チャンネル。他のチャンネルも同じdBで下がっています。

# マスター・セクション

A360パーソナルミキサーのマスター・セクションには、A-NetのLED、グローバル・マス ター・ボリューム及びトーン・コントロールを含みます。



	機能
1	A-NetのLED (緑・赤)
2	Mono Mix Outのボリューム・コントロール
3	ベース(低音) のトーン・コントロール
4	トレブル (高音) のトーン・コントロール
5	Enhanceのトーン・コントロール
6	マスター・ボリューム・コントロール



## マスター・ボリューム

MASTER VOLUMEノブは、リア・パネルの3.5mm及び6.3mmのステレオ音声出力端子のレベルを調整 します。また、リア・パネルのMono Mix Out出力端子に送信されるミックスレベルも調整します。Mono Mix Outのみを使用する場合は、MASTER VOLUMEを12時の方向にし、必要に応じてMONO MIX OUT ノブを回してレベルを調整してください。

マスター・ボリュームのレベル設定はミックスプリセットと一緒に保存されません。.

## Mono Mix Out

A360では、ミックスをモノラルラインレベル信号 (バランス) として出力されることによって、サブウーフ ァーやパワードモニターを簡単に接続することができます。MONO MIX OUTノブを使って、リア・パネル のMONO MIX OUT出力端子 (XLR) へ送信される信号のレベルを調整します。モノラルミックスの出力レ ベル自体は、MASTER VOLUMEノブによって調整します。A360にパワードモニターなどステレオデバ イスが接続されていない場合でも、MASTER VOLUMEを上げないとモノラルミックスの音声は出力され ません。.



MASTER VOLUMEノブがMono Mix Outに送信される信号のレベルを調整します.

A360では、STEREO MIX OUT端子から出力される信号を影響するパン・スプレッドの設定はともかく、 モノラルのミックスも出力します。Mono Mix Outのレベル設定はミックスプリセットと共に保存されません。

## Bassトーン・コントロール

マスターセクションのBASSコントロールは、モノラル・ステレオ出力信号の低音を調整します。A360と 接続されているヘッドホンやスピーカーに合わせて、トーンをお好みに調整することができます。

Bassコントロールのデフォルト設定は12時の方向(フラット)です。BASSコントロールの位置はミック スプリセットと一緒に保存されません。.

## Treble トーン・コントロール

TREBLEトーンコントロールを使って、モノラル・ステレオ出力信号の高音を調整します。

デフォルト設定は12時の方向(フラット)です。Bassコントロールと同様に、Trebleコントロールの位置はミックスプリセットと共に保存されませんet.

## Enhance トーン・コントロール

ENHANCEコントロールとは、ミックスの低音にパンチ力を与えると同時に、高音をきらびやかにする、という特別なEQです。インイヤーヘッドホンでミックスを聴いている場合は特に便利です。

Enhanceノブのデフォルトの位置は最も左 (オフ) です。使用するには、まずは「オフ」の状態でミックス を調整します。次に、ミックスを聴きながらENHANCEノブを回し、ミックス全体の音をお好みに調整しま す。.



Enhanceの機能を使うには、ミックスを聴きながらENHANCEノブをゆっくりと回します

Enhanceの値はグローバルであり、ミックスプリセットと共に保存されません。

## A-Net LED

A-NetのLEDは、Pro-16もしくはPro-16eの入力信号を検知する時に点灯します。16チャンネルである Pro16信号を検知する場合はLEDが緑に点灯し、最大64チャンネルであるPro16e信号を検知する場合 はLEDが赤く点灯します。信号に合わせて、リア・パネルのモードスイッチを正しく設定する必要がありま す(45ページを参照).



「A-Net」 LEDはPro-16e信号を検知すると赤く点灯します

# ミックス・プリセット

A360で作り上げたミックスを4つの「Instant Mix Recall」 ボタン、もしくは、各ミック スチャンネルボタン (16個) にアサインし、保存することができます。



	機能
1	SAVEボタン
2	Instant Mix Recall™ボタン (A、B、C、D)
3	Recallボタン
4	チャンネル・ボタン・メモリー・ロケーション

# ミックス・プリセットの保存

A360パーソナルミキサーは20のミックスプリセットまでを保存することが可能です。そのうち、16が各 ミックス・チャンネル・ボタンをロケーションとして保存され、4つがA□ DのInstant Mix Recall™ボタン をロケーションとして保存されます。ミックスのプリセットは、本体の電源がOFFになってもメモリーに残 ります。

ミックスプリセットを作成した時は、16のミックスチャンネル及びデュアル・プロフィール・チャンネルの チャンネル設定、また、ワン・タッチ・アンビエンスのレベル設定が保存されます。プリセットと共に保存 される設定の詳細は、39ページを参照してください。.

P 注意: ミックスを作成した時のリア・パネルにあるモードスイッチの設定及びA-Netデ ータの種類(Pro16もしくはPro16e)は重要です。なぜなら、A-Netの種類によ って、チャンネルマッピング方式も異なり、ステレオ信号の扱い方も異なるからで す。Pro16プリセットをPro16eモードで使用できないと同様に、Pro16eプリセットも Pro16モードで使用することができません。このような理由でミックスプリセットを リコールできない場合は、プリセットロケーションのボタンLEDがエラーを示すために 点滅します。.

## 「SAVE」ボタン

SAVEボタンを使って、ミックスプリセットをチャンネル・ボタンのロケーション、もしくは、A□DボタンのInstant Mix Recall™ロケーションに保存します。

#### ミックス・プリセットを標準の場所に保存する

チャンネルボタンにミックスプリセットを保存するには::

- 1. SAVEボタンを長押しします
- 2.SAVEボタンの赤いLEDが点滅します
- 3. SAVEボタンを押したままで、いずれかのチャンネルボタン (1□ 16) を押します
- 4. SAVEボタンから指を離します
- 5. 無事に保存したことを示すため、16チャンネルのボタンLED全てが一時的に点滅します

SAVEボタンを押している間には、お好みによってプリセットを複数のロケーションに保存することができます。保存する度に、保存確認としてチャンネルの赤いLEDの全てが一時的に点滅します).

P TIP:

最後に保存したプリセットを確認するには、SAVEボタンを長押しします。最後に保存 したロケーションボタンのLEDが点滅します。もう一度SAVEボタンを押すと、本体が 通常のミックス状態に戻ります。



SAVEボタンは、インスタント・ミックス・リコールロケーションの場合にも標準ミックスロ ケーションの場合にも使います.

注意: チャンネルがソロモードになっている場合は、SAVEボタンは機能しません。

## 「Instant Mix Recall」ボタン

名前の通り、4つのInstant Mix Recall™ロケーションによって、ボタンを一回押すだけでミックスをリコ ールすることができます。4つのロケーション (A□D) にプリセットを保存する場合は、各チャンネルロ ケーション (1□16) に保存する場合と同じミックスデータを含みます。

#### インスタント・ミックス・リコールのロケーションに保存する

インスタント・ミックス・リコールのロケーションにプリセットを保存するには::

- 1.SAVEボタンを長押しします
- 2.SAVEボタンの赤いLEDが点滅します
- 3.SAVEボタンを押したままで、どれかのInstant Mix Recallボタン (A、B、C、D) を押します

#### 4.SAVEボタンから指を離します

5.無事に保存したことを示すため、16チャンネルのボタンLED全てが一時的に点滅し、保存したInstant Mix Recallロケーションのボタンが緑に点灯します

Instant Mix Recallロケーションにミックスを保存してから、他のミックスプリセットを保存するまで、緑のLEDがそのまま点灯します。



例: ミックスをInstant Mix Recallロケーション 「B」に保存した場合.

#### インスタント・ミックス・プリセットをリコールする

ミックスを各Instant Mix Recallロケーションに保存してから、A-Dのロケーションボタンを押すだけで 直ちにリコールすることができます。.

## 「Recall」ボタン

Recallボタンは、標準チャンネルロケーション (1-16) に保存したミックスプリセットをリコールする場合のみに使用します。インスタント・ミックス・リコールプリセットの場合は使用しません。

#### 標準のミックス・プリセットをリコールする

A360の標準チャンネルロケーション (ボタン1-16) に保存したプリセットをリコールするには

- 1.RECALLボタンを一回押します(黄色のLEDが点滅します)
- 2.リコールしたいプリセットに該当するチャンネルボタンを押します
- 3.ミックスがリコールされ、黄色のLEDが消灯します.

P:上記で説明した通り、Pro16プリセットをPro16eモード(Default・Custom)で使用でき ないと同様に、Pro16eプリセットもPro16モードで使用することができません。無効 なミックスプリセットをリコールしようとする場合は、Recallボタン及びミックスチャ ンネルボタンのLEDがエラーを示すために点滅します。



ミックスをリコールするには、Recallボタンを押してからチャンネルボタンを押します.

P: ソロモード(「Solo」LEDが点滅している状態)では、ミックスの保存及びリコールを 行うことはできません

#### ミックスのリセット

RECALL及びMUTEボタンを同時に押しと、ミックスがリセットされ、全てのチャンネルレベルがデフォルトの値に戻ります。ただし、ミックスをリセットしても、メモリーに保存されているミックスパラメーターには影響します。リセットを行ってから現在のミックスプリセットを上書きするには、SAVE機能を使用してください(38ページを参照)

リセットの機能は以下のように設定が影響されます:

- 全てのチャンネルのボリュームはゼロに戻る
- 全てのチャンネルのミュートが解除される
- 全てのチャンネルのパンは真ん中の位置に戻る
- 全てのチャンネルのスプレッドが最大の幅に戻る
- ・ 全てのチャンネルのトーン設定は中の位置 (フラット) に戻る
- 中の位置に戻るのリバーブレベルがゼロに戻る
- グループがクリアされる
- ・ デュアル・プロフィール・チャンネルのプロフィールA・Bのミックスパラメーターがリセットされる
- プロフィールAが選択される
- チャンネル1のボタンが選択される
- アンビエンスがデフォルトのレベルに戻る

チャンネルマッピングの設定、モードスイッチの位置及び保存されたミックスプリセットは影響されません。

## ミックス・プリセットと一緒に保存されるもの

ミックスプリセットを作成した際に以下設定が保存されます:

- ・ チャンネルマッピングの種類 (Pro16もしくはPro16e)
- チャンネルのボリューム
- チャンネルのリバーブレベル
- チャンネルのトーン設定
- チャンネルのパン
- チャンネルのスプレッド(ステレオチャンネルのみ)
- チャンネルミュートのON/OFF
- グループにアサインされているチャンネル
- 最後に選択されたミックスチャンネル
- ・ プロフィールA・Bのチャンネル設定及びAもしくはBの選択
- アンビエンスのレベル
- アンビエンスのON/OFF

#### プリセットと一緒に保存されない設定

ミックスプリセットを作成した際に以下設定が保存されません::

- MASTER VOLUMEのレベル
- MONO MIX OUTのレベル
- Bassトーンコントロールの値
- Trebleトーンコントロールの値
- Enhanceトーンコントロールの値
- リア・パネルのモードスイッチの位置
- ステレオリンクの設定(リンクは入力デバイスで行われる)
- デュアル・プロフィール・チャンネルのチャンネル・ミラー設定
- ・A360チャンネルマネージャー」ソフトウェアで作成された16のチャンネルボタン用の チャンネルマッピング(ネットワーク・スロットのアサインメント)
- デュアル・プロフィール・チャンネル及びアンビエンスボタンのカスタム・モード・チャンネ ルマッピング(ネットワーク・スロットのアサインメント)
- P::「A360チャンネルマネージャー」ソフトウェア(もしくはフロント・パネル)で作成 された16のチャンネルボタン用のチャンネルマッピングはミックスプリセットと共に 保存されません。ミックスプリセットは、保存された時点のチャンネルマッピング設 定のままで使用する必要があります。そのため、別のミキサー・コンフィギュレーシ ョンをロードしても、保存されたミックスプリセットと共に機能する保証がありませ ん。

# A360 リアパネル



	機能
1	Stereo Mix Out – 1/8(3.5mm) ,1/4インチ(6.3mm) TRS ステレオ・ミックス出力
2	Mono Mix Out – モノラル・ミックス出力、XLRオス
3	USB データポート
4	モードスイッチ – 4ポジション
5	A-Net入力 (Ethercon®RJ45)
6	DC電源アダプター用の端子

# リア・パネルの特徴

このセクションでは、A360のリア・パネルの各機能について説明します。

## Stereo Mix Out (ステレオ・ミックス出力)

3.5mm及び6.3mmのTRSステレオ出力端子によって、簡単に各種類のヘッドホンを接続することが可 能です。必要であれば両端子を同時に使うことは可能ですが、ボリュームのアンバランスを避けるため、 近いインピーダンスのヘッドホンをそれぞれの端子で使うことを勧めます。

無線ヘッドホンの親機やパワードモニターに接続する場合には、TRS出力はラインレベル出力として使用 することができます。この場合は、スプリッタ(「Y字ケーブル」もしくは「インサートケーブル」とも呼ば れる)が必要になります。スプリッタケーブルは、TRS出力を2つ(L・R)のアンバランスTSジャックに変 換します。

P:Stereo Mix OutのTRS出力をモノラルバランス入力端子に接続しないでください。バラン ス信号は、+-信号の差で補正することによって混入するノイズを減少します。TRSス テレオ出力はバランス信号を発信する出力ではありません。|.



「Stereo Mix Out」の3.5mm及び6.3mmのTRS端子及び「Mono Mix Out」のモノラル XLR端子.

## Mono Mix Out(モノラル・ミックス出力)

Mono Mix OutのXLR端子では、サブウーファーやパワードモニタースピーカーを簡単に接続することができます。A360が現在のステレオミックスをモノラルに変換するので、Mono Mix Out端子に1つのケーブルで出力デバイスと接続するだけで完了です。

P XLRモノラル端子のみで接続をしている場合でも、A360のマスターボリュームが下がっていると音が出ません。

#### A360のモード

A360は、A-16IIやA-16Rパーソナルミキサーと組み合わせてシステムを組むことも可能ですが、よりチャンネル数を実現するPro16e A-Netのシステムと組み合わせることも可能です。様々なシステムと組み 合わせるために、4つポジションのモードスイッチを使用します。

モードスイッチの位置によって、A360で作成するプリセットに影響を与えます。ミックスプリセットの詳細は、38ページを参照してください。.

## モードスイッチ

A360のリア・パネルにある4つポジションのモードスイッチを使って、Pro16もしくはPro16eオペレーションを選択します。1つのモードはPro16専用であり、残りの3つはPro16e専用となります。.

モードは以下の通りです(左から右の順):

- Pro16モード
- デフォルトモード
- プログラムモード
- カスタムモード



モードスイッチには4つの設定がある (Pro16、デフォルト、プログラム及びカスタム)

#### Pro16 モード

1つのPro16入力デバイスを使って16チャンネルまでのシステムを構成する場合は、Pro16モードを使い ます。A360のチャンネルレイアウトは、A-16IIやA-16Rパーソナルミキサーと同じです。入力デバイスの 各チャンネルとパーソナルミキサーの各チャンネルが共通しており、チャンネルの順番を変更することは 不可能となります。入力デバイスで設定するステレオリンクは、そのままパーソナルミキサーで自動的に 設定されます。

デュアル・プロフィール・チャンネルはどのモノラル・ステレオペアのチャンネルもミラーすることが可能 です。ワン・タッチ・アンビエンスは内蔵マイクのみでの使用となります。.

#### デフォルト・モード

2つ以上の入力デバイスを接続して16入力チャンネル以上のシステムを構成する場合には、デフォルト モードを使います。この場合は例えば、最大4つのAN-16/iv.2入力モジュール、もしくは、1つのPro16入 カデバイス (AN-16/i-M、AN-16iもしくはコンソールカード)及び最大3つのAN-16/iv.2でシステムを 構成することになります。

デフォルトモードでは、A360がPro16e A-Netストリームを受信可能になります。入力デバイスにステレオペアがリンクされている場合は、そのステレオペアがA360の1つのチャンネルボタンにアサインされます。デフォルトモードで16チャンネルのPro16 A-Netデバイスを接続すると、A360は自動的に16チャンネルを順番で16チャンネルボタンにアサインします。この場合は、ステレオペアはボタン1つではなく、2つの隣り合ったボタンに分けてアサインされます(上記のPro16モードと同様に)。

デフォルトモードでは、チャンネルがデフォルトの順番でA360のミックスボタンにアサインされます(下記の図を参照)。入力デバイスの奇数・偶数オーディオチャンネルはステレオペアとして扱われます。入力デバイスのステレオリンクスイッチがモノラルに設定されている場合は、奇数(左)の入力のみが使われ、A360ミックスチャンネルボタンがモノラルとなります。入力デバイスのステレオリンクスイッチがステレオに設定されている場合は、チャンネルがL・Rのペアとして扱われます。この場合、該当するA360のミッックスボタンがステレオとなり、スプレッド機能も使用可能になります。.



AN16/iv.2のMono/StereoLinkスイッチの位置によって、各チャンネルペアがA360の各ミックス ボタンにモノラルもしくはステレオの信号がアサインされます。スイッチがMonoになっている場合 は、Pro16eデバイスから受信する右(R)チャンネルが無視されます(A360がカスタムモードの場合を 除く)。

デフォルトモードでは、デュアル・プロフィール・チャンネルはモノラルもしくはステレオペアをミラーすることはできるが、第17チャンネルとして使用することはできません。ワン・タッチ・アンビエンスは内蔵マイクのみの使用となります。

e.

P: デフォルトでないチャンネルアサインをするには、A360をカスタムモードにする必要が あります.

#### ステレオ・リンク

入力モジュールでチャンネルがリンクされる場合は、A360では、両チャンネルが1つのミックスチャンネルボタンにステレオペアとしてアサインされます。以下の図では、A360に32チャンネルを入力する場合のデフォルトマッピングを示します。

AN-16/i v.2		デフォルト A360 Channel	
バンク	チャンネル	ステレオの場合	モノの場合
	1	1 (L)	1
	2	1 (R)	無視
	3	<b>2</b> (L)	2
	4	<b>2</b> (R)	無視
	5	<b>3</b> (L)	3
	6	<b>3</b> (R)	無視
	7	<b>4</b> (L)	4
16	8	<b>4</b> (R)	無視
<u>-</u>	9	<b>5</b> (L)	5
	10	<b>5</b> (R)	無視
	11	<b>6</b> (L)	6
	12	<b>6</b> (R)	無視
	13	<b>7</b> (L)	7
	14	<b>7</b> (R)	無視
	15	<b>8</b> (L)	8
	16	<b>8</b> (R)	無視
	1	<b>9</b> (L)	9
	2	<b>9</b> (R)	無視
	3	<b>10</b> (L)	10
	4	<b>10</b> (R)	無視
	5	<b>11</b> (L)	11
	6	<b>11</b> (R)	無視
	7	<b>12</b> (L)	12
-32	8	<b>12</b> (R)	無視
17-	9	<b>13</b> (L)	13
	10	<b>13</b> (R)	無視
	11	14 (L)	14
	12	14 (R)	無視
	13	<b>15</b> (L)	15
	14	<b>15</b> (R)	無視
	15	<b>16</b> (L)	16
	16	<b>16</b> (R)	無視

Iチャンネルがステレオペアとしてリンクされていない場合は、A360が左(奇数)のチャンネルのみを検知し、右(偶数)のチャンネルを無視します。ただし、A-360がPro16もしくはカスタムモードになってい

る場合、またはA-16IIミキサーを使用している場合には、右(偶数)のチャンネルも検知されます。

#### プログラム・モード

A360のモードスイッチをPROGRAMに設定すると、カスタム・チャンネル・マッピングが行えるように、 フロント・パネルのミックスコントロールが一時的に無効になります。

「A360チャンネルマネージャー」ソフトウェアを使って、ミキサー・コンフィギュレーションの作成及び ロードを行うことができます。一旦ミキサー・コンフィギュレーションを保存した後、USBメモリースティ ックにコピーし、A360にロードすることが可能です。現在A360にロードされているコンフィギュレーシ ョンをUSBメモリースティックに保存すると、バックアップしたり、他のA360パーソナルミキサーにロー ドしたりすることができます(50ページを参照).

P:TネットワークチャンネルをA360のボタンにアサインするには、A360チャンネルマネージャーのソフトウェアを使う必要があります。その後に、ミックスコンフィギュレーションをUSBメモリースティックからA360にロードすることができます。.

#### ミキサー・コンフィギュレーションをロードする

USBメモリースティックに16のミキサー・コンフィギュレーションを保存することが可能です。A360チャンネルマネージャーのソフトウェアで作成する際、各コンフィギュレーションに1から16までの番号が付けられます。これによって、各演奏者のミックス用に必要なネットワークチャンネルをアサインし、素早く各A360にロードすることができます。

メモリースティックからA360に1つのミキサー・コンフィギュレーションをロードするには: 1. A360にUSBメモリーデバイスを挿入します.

- リア・パネルのスイッチをPROGRAMモードにします.リバーブ、トーン、ボリューム及びパンのLEDが全て消灯し、ミキシング機能は全て操作不可能となります
- 3. SAVE及びRECALLボタンが点滅し始めます.
- 4. RECALLボタンを押します。RECALLボタンのLEDが点灯し、全てのミックスチャンネルのLEDが点滅し始めます.
- 5. ロードをするミキサー・コンフィギュレーションの番号に該当するチャンネルボタン (1-16) )を押します。そのチャンネルのLEDが点灯し、その他のチャンネルのLEDが消灯します。
- 6.新しいチャンネルマッピングを使うには、リア・パネルのモードスイッチをCUSTOMにし ます
- 7. USBメモリーデバイスを取り外します.

#### ロード中のエラーメッセージ

USBデバイスに保存されているミキサー・コンフィギュレーションに該当しないミックスチャンネルのボタンを押す場合は、エラーメッセージとしてRECALLボタンのLEDが一時的に点滅します。その後に、上記の③と同様に、SAVE及びRECALLボタンが点滅します。上記の④-⑤と同様に、RECALLボタンを押してから別のチャンネルボタンを押します。

USBデバイスが接続されていない状態でモードスイッチをPROGRAMにする場合、もしくは上記のボタン コンビネーションを行ってからUSBデバイスを取り外す場合には、エラーメッセージとしてA-NetのLED が点滅します。続けるには、USBデバイスをもう一度A360に差し込みます。 ミキサー・コンフィギュレーションをUSBデバイスに保存

A360にロードされているミキサー・コンフィギュレーションは、バックアップ用もしくは他のA360にロードされるために、USBメモリーデバイスに保存することができます。.

現在のミキサー・コンフィギュレーションをUSBメモリースティックに保存するには: 1. IA360のUSBポートにUSBメモリーデバイスを挿入します.

- 2.A360のリア・パネルにあるモードスイッチをPROGRAMに設定します。リバーブ、トーン、 ボリューム及びパンのLEDが全て消灯し、ミキシング機能は全て操作不可能となります
- 3.「SAVE」及び「RECALL」 LEDが点滅し始めます
- 4. SAVEボタンを押します。SAVEボタンのLEDが点灯し、ミックスチャンネルボタンのLED が点滅し始めます。
- USBデバイスに保存したいミキサー・コンフィギュレーションに該当するチャンネルボタン (1-16)を押します。選択したチャンネルのLEDが点灯し、それ以外のチャンネルのLED が消灯します。.
- 6.USBメモリーデバイスを取り外します
- 7. リア・パネルにあるモードスイッチをCUSTOMに戻すか、DEFAULTに設定します(標準のPro16eチャンネルマッピングを使用する場合.

P:USBデバイスに新しいミキサー・コンフィギュレーションを保存する場合は、デバイスに ある既存のコンフィギュレーションが上書きされることがあります。既存データのバ ックアップを必ず事前に行ってください。

#### カスタム・モード

カスタム化されたチャンネルマッピングによって、どのネットワークスロットもA360のどのミックスチャンネルボタンにでもアサインすることが可能です。1つのシステムの中で複数のA360を使用する場合でも、各A360を単独に設定することができるため、各ユーザーに最大のカスタム化及び柔軟性を与えます。.



チャンネルマッピングを使用するにはモードスイッチをCUSTOMに設定します.

モードスイッチをCUSTOMに設定すると、A360チャンネル・マネージャー・ソフトウェアで作成したチャンネルマッピングをA360本体でミックス用に使用できます。

カスタムモードでは、デュアル・プロフィール・チャンネルが独立したミックスチャンネルとなり、他のチャ ンネルをミラーすることが不可能となります。ワン・タッチ・アンビエンスの機能は内蔵マイクを使用する ことも可能であり、どのネットワークチャンネル(モノラル・ステレオ)にもアサインすることができます。 観客の近くでマイクを設置した場合には大変便利な機能です。ワン・タッチ・アンビエンスの詳細は15ペ ージを参照してください。

	Current Configurati	on: 13		
A360 Channel Button	Stereo Link	Slot Assignment	Stab	ARCO Channel Manage
3.	🖲 Mono 🕐 Stereo	1	• OK	A360 Channel Manage
2	💩 Mana 🕐 Stereo	2	т ок	
3	🕙 Mana 🧕 Stereo	5/6	- ок	Select a Mixer Configuration to edit.
4	🔿 Mono 🧕 Stereo	7/8	•	
5	🕙 Mono 🧶 Stereo	35/36	• OK	Drive Configuration Number
6	🙆 Mana 🕐 Storea	17	* OK	r.y Consigni Ludu
7	Mana 🕤 Stateo	40	• OK	2
8	🗇 Mana 🛛 🧕 Stereo	15/16	* OK	Save your settings to a Mixer Configuration
3	🖲 Mono 🕥 Stereo	37	т ОК	Drive Confra ration Number
10	🕐 Mono 🔘 Stereo	19/20	- OK	FA + config13 + Save
11	💮 Mono 🙁 Stereo	21/22	- OK	
12	🔘 Mono 🔘 Stereo	23/24	• OK	
13	😟 Mono 💮 Stereo	18	- OK	
14	💮 Mono 🛛 🧕 Stereo	27/28	• ок	
15	🗇 Mono 🧕 Stereo	29/30	• ОК	ADER
16	🔿 Mono 🔘 Stereo	31/32	- OK	
Dual Profile Channel	🕙 Mana 💩 Stereo	3/4	- OK	Personal Mix
Ambience	🖉 Mana 💮 Stereo	Onboard Mic	* OK	recondent the

例:1つのカスタム・チャンネル・コンフィギュレーション

## USBデータポート

A360では、PCでフォーマット済みのUSBメモリースティックを使って、ファームウェアのアップデート及びミキサー・コンフィギュレーションの保存・リコールを行います。ミキサー・コンフィギュレーションの保存・リコールの詳細は、49ページを参照してください

#### ファームウェアのアップデート

A360のファームウェアをアップデートすることによって、新しい機能を加えることができます。アップデート中には、ミキシング及びオーディオ出力の機能が使用不可能となります。プロセス自体はA360毎に数分しかかかりませんが、実際に時間はそのアップデートファイルの重さによって異なります。ファームウェアのアップデートファイルはAviomのホームページからダウンロードすることができます (www.aviom.com)。

アップデートをするには、PCのFAT32フォーマット済みのUSBメモリースティックが必要です。Macの NTFSフォーマットのUSBメモリースティックは使用できません。パーティションによってFAT32及び NTFS両方のフォーマット形式が1つのUSBデバイスにある場合は、Macのパーティションは無視されま す。

ー旦ファームウェアのアップデートをダウンロードしてから、.zipアーカイブの中にあるファイルをUSBメ モリースティックのルートレベルにコピーします(全てのファイルは「AVIOM」という名が付いているフォ ルダーにあります)。

P:アーカイブフォルダーにあるファイルを移動させたり、名前を変更したりすると、アップ デートが正しく完了しないことがあります。

A360パーソナルミキサーのファームウェアをアップデートするには:

- A360の電源をOFFにします。Cat-5ケーブルによってA360に給電している場合は、A-NetディストリビューターをOFFにする、もしくは、A360のA-Net入力端子からCat-5ケ ーブルを取り外してください。
- 2.USBメモリースティックをA360本体のUSBポートに差し込みます
- 3.SAVE及びSOLOボタンを同時に押しながらA360の電源をONにします.
- 4. ファームウェアのアップデートが開始したことを示すように、チャンネルボリュームのLED が点滅し始めます.
- 5. SAVE及びSOLOボタンから指を離します
- 6.数秒後、チャンネルLEDがプログレスバーとしてアップデートの進歩状況を示します。
- 7. 更新プロセスに複数のステップを含むアップデートファイルの場合は、チャンネルのボリ ュームLEDによって現在のステップの進歩状況が表されます
- 8.新しいファームウェアのインストールが無事に完了すると、点滅しているLEDが消灯 し、A360は使用可能な状態に戻ります。オーディオ出力も使用可能な状態に戻ります。.
- 9.USBデバイスを安全に取り外せるようになります
- P: 警告

ファームウェアアップデートの最中には、本体のボタンを押したり、USBメモリース ティックを取り外したり、A360の電源を切ったりしないでください. ファームウェア・アップデートのエラーメッセージ

エラー	Description
SAVEとSOLOボタンを押すと、チャンネ ルボタンのLEDが一瞬だけ点灯してか ら、A360が通常の状態(ミキシング状態) に戻ります。	A360のファームウェアは既に最新バージョ ンになっています。
SAVEとSOLOボタンを押すと、トーンの LEDが一時的に点灯してから、A360が通 常の状態(ミキシング状態)に戻ります。	USBポートにメモリーデバイスが接続されて いません。
SAVEとSOLOボタンを押すと、リバーブの LEDが一時的に点灯してから、A360が通 常の状態(ミキシング状態)に戻ります。	ファームウェアのアップデート用のファイル が検知されていません。 圧縮ファイルが正し く解凍されたかどうか、また、 USBデバイス のルートレベルに正しくコピーされたかどう かを確認してください。

## A-Net入力

A360のCat-5式A-Net Inポートは、Neutrik□ EtherCon□ RJ45端子になっており、Pro16または Pro16e A-Netデータに対応しています。パソコンで使用される標準のCat-5e UTPケーブル (RJ45コネ クター付き)、または、ノイトリックのEtherConプラグ付きのケーブルを使うことができます。

A360がA-16D ProなどのA-Netディストリビューターと接続されている時は、同じCat-5eデータケーブ ルでDCパワーを受け取ります。この場合は、外付けDC電源アダプターは不要となります。

P:A360がA-Netディストリビューターと接続されている場合は、A-Netディストリビュ ーターと接続されている入力デバイスによって、A360が受信するA-Net信号の種類 (Pro16もしくはPro16e)が異なります。どちらのタイプもA-Netディストリビュー ターと互換性をもちます。

## DCパワー

A360のDCパワー端子が24VDCを必要とします(Cat-5ケーブルでA-Netディストリビューターよりパワ ーを受け取っていない場合)。オプション品であるAviom 24VDC500mA電源アダプターのみを使用し てください。

# パーソナル・ミキシング・システムの設定

ここでは、A360パーソナルミキサーを他のPro16デバイスと組み合わせることによっ て、パーソナル・ミキシング・システムを構成する方法について説明します。各Pro16デバ イスの機能や設定・操作方法の詳細については、それぞれのユーザーマニュアルを参照 してください。

## 既存システムにA360を加える

A360パーソナルミキサーは、A-16IIパーソナルミキサー(もしくはラックマウントバージョンのA-16R) を使用する既存のシステムに追加することができます。こういうシステムは大抵同じ仕組みで構築され ます。まずは、入力デバイス(アナログもしくはデジタルのコンソールカード)A-Netデジタル信号を発し ます。デイジーチェーンで各パーソナルミキサーと接続することも可能であり、A-16D ProなどのA-Net ディストリビューターを使用することによって、A-Netケーブルで信号と一緒に給電することも可能で す。

Pro16式のアナログデバイス及びコンソールカード以外は、以下の図の入力デバイスの代わりにPro64 ASI A-Netシステムインターフェイスを使用することが可能です。



A360のリア・パネルのモードスイッチががPro16に設定された場合

## デイジーチェーン接続

デイジーチェーンで構築されたパーソナル・ミキシング・システムでは、入力モジュール(もしくはコンソ ールカード)から発されるA-Net信号が、各パーソナルミキサーのA-Net Out端子から次のパーソナルミ キサーのA-Net In端子へ転送されます。DCアダプターの使用は必要となります。

16チャンネルまでのPro16パーソナル・ミキシング・システムでA360をA-16II (またはA-16R) と組み合わせる場合は、リア・パネルのモードスイッチをPRO16に設定しなければなりません。モードスイッチの詳細は、項目ページを参照してください。.



AA-16IIミキサーをデイジーチェーンで構成したPro16パーソナル・ミキシング・システム.

1つのA360パーソナルミキサーをデイジーチェーン式のパーソナル・ミキシング・システムに追加することは可能ですが、A-Net Out端子が付いていないことによって、デイジーチェーンの最後のデバイスでなければなりません。こういうシステムで1つ以上のA360を使用するには、A-Netディストリビューターが必要になります。



A360がデイジーチェーンの最後のデバイスでなければなりませんn.

A360パーソナルミキサーをデイジーチェーンで接続する場合は、PS-120などの外付け電源アダプター が必要です。A360とは、電源アダプターは同梱されません。.

#### パラレル接続

AA-Netディストリビューターを使うことによって、既存のPro16パーソナル・ミキシング・システムに A360パーソナルミキサーをより簡単に組み合わせることができます。デイジーチェーン式のシステムと 同様に、1つのアナログ入力モジュール(もしくはコンソールカード)から16チャンネルのA-Net信号が発 され、各パーソナルミキサーへ送信されます。

1つ以上のA-Netディストリビューターを使えば、A-16II・A-16Rを含むパーソナル・ミキシング・システム に複数のA360パーソナルミキサーでも組み合わせることが可能になります。また、デイジーチェーン式 のシステムと同様に、16チャンネルまでのPro16パーソナル・ミキシング・システムでA360を組み合わせ る場合は、リア・パネルのモードスイッチをPRO 16に設定する必要があります。.



A-Netディストリビューターの使用によって、パーソナルミキサーをパラレルで接続できる ようになります.

A360をA-Netディストリビューターと接続している場合は、外付け電源アダプターを使わずに、Cat-5 ケーブルで給電することになります。.

## PPro16eパーソナル・ミキシング・システム

A360パーソナルミキサーは、Pro16eに対応しています。Pro16eは、A-Netの高度なバージョンであり、 4つまでの入力デバイスを使うことによって、最大64チャンネルのシステムを組むことができます。この 64チャンネルの中から、お好みにチャンネルを各A360にアサインすることができます。「A360チャン ネルマネージャー」のソフトウェアでは、ネットワークのスロット(チャンネル)をA360の各ミックスチャ ンネルのボタンにアサインします。カスタム化したチャンネル・コンフィギュレーションをUSBメモリース ティックからA360本体にロードすることが可能です。デフォルトのチャンネルマッピング以外のコンフィ ギュレーションをA360で使うには、カスタムモードを使わなければなりません。チャンネルマッピングの 詳細は、49ページを参照してください。.



A 32-input personal mixing system with A-16II and A360 Personal Mixers

パーソナル・ミキシング・システムの入力として複数の入力デバイスを使用する場合は、各デバイスが16 チャンネルから構成される1つのバンクを与えます。AN-16/i v.2のリア・パネルにあるSLOT RANGEス イッチを使って、バンクのアサインを設定します。64チャンネルのプールを実現するために、最大4つの 入力デバイスを組み合わせることが可能です.

## スロットレンジの設定

Pro16eのパーソナル・ミキシング・システムでは、各入力デバイスが16チャンネルから構成される1つの バンクをネットワークに与えます。それぞれのチャンネルアサインを設定するには、AN-16/i v.2のSlot Rangeスイッチを使います。スロットレンジが正しく設定されていれば、デイジーチェーンの中でデバイ スの位置は関係ありません。A-NET OUT端子を次のモジュールのA-NET IN端子にCat-5ケーブルで繋 げることによって、入力モジュール同士をデイジーチェーンで接続します。



例:各入力デバイスのSlot Rangeスイッチの設定(64チャンネルシステムの場合)。16チャンネルの場合は、レガシーのPro16デバイスを使用することも可能です。

チェーンの最後にある入力デバイスのA-NET OUTをA-Netディストリビューターの A-NET INに接続し、A-NetディストリビューターのA-NET OUT端子にA360パーソナル ミキサーを接続します。レガシーのPro16デバイスを使用することも可能ですが、1~16チ ャンネルに限定されます。その場合は、1~16チャンネルが自動的にアサインされます。



A 64-input system using two A-Net distributors is shown.

A-16II及びA-16Rは1~16チャンネルのみを利用します

A-16IIまたはA-16RパーソナルミキサーはPro16eシステムで使用できるが、アクセスは最初の16スロット (チャンネル)に限定されます。.

## レガシー入力デバイスの使用にあって

複数の入力デバイスから構成されているシステムの中で、1つのレガシー入力デバイス、またはPro16コン ソールカードを、使うことが可能です。デフォルトとしてシステム最初の16チャンネルをネットワークに与 え、1つ目のPro16eデバイスのA-NET IN端子に接続する必要があります。この場合、Pro16e入力デバイ ス (例えば、AN-16/i v.2) のスロットレンジを17以上に設定しますn.



4つのAN-16/i v.2入力モジュールを使うことによって、A360に最大64チャンネルをアサインすることができます

\* 入力デバイスのデイジーチェーンシステムの最初のPro16eデバイスの代わりに、Pro16レガシーデバイス (AN-16/i、AN-16/i-M、Y1 A-Netカード、ASIまたはコンソールカード)を使うことが可能です。この 場合は、スロット1~16が自動的にレガシーデバイスにアサインされます。

# モニター用デバイスの接続

ヘッドホン、無線イヤホン、パワードモニタースピーカー、サブウーファーや低音振動チェ アそれぞれは、A360と別々で接続することも可能であり、同時に接続することも可能で す。ここでは、このようなデバイスのA360との接続方法について説明します。



## Stereo Mix出力の接続

A360には、ステレオミックスを出力する3.5mmと6.3mmステレオTRS端子が付いています。両端子は 常にアクティブとなっています.

#### ヘッドホン

ヘッドホン (または有線イヤホン)をA360本体に接続します。最適な音質のために、可能な限り低イン ピーダンスのものを使用してください。高インピーダンスのものだとA360に害を与える訳ではないが、 ミックスの出力レベルが低くなることがあります。.



ヘッドホンやインイヤーモニターはステレオミックス出力端子と接続します.

3.5mmと6.3mm出力端子を同時に使用することが可能です。詳細は44ページを参照してください。

ワイヤレスインイヤーシステム

A360のステレオミックス出力端子には、無線イヤホンの親機のL・R入力を接続することができま す。TRSステレオ端子を2つのモノラルTS(L・R)出力に変換する「Y字ケーブル」を使用しなければなり ません。L・RのTS出力はアンバランスとなります。無線イヤホンの親機にXLR端子のみが付いている場 合は、専用のケーブルを作らなければならないことがあります。親機のXLR端子にアンバランスの信号を 正しく接続する方法の詳細は、親機の取扱説明書を参照してください。.



Y字ケーブルを使用することによって、ステレオミックス出力を無線イヤホンの親機に接続 することができます.

専用のアダプターケーブルを作る場合は、TRSのチップ(T)コネクターが左チャンネルの信号、リング(R)が右チャンネルの信号、そしてスリーブ(S)が両信号の接地を与えます。この場合は、L・R信号はアンバランスとなります。

ステレオ・モニター・スピーカー

TTRSステレオ端子を2つのモノラルTS(L・R)出力に変換する「Y字ケーブル」を使用することによって、ステレオミックス出力に2台のパワードモニタースピーカーを接続することができます。



ステレオパワードスピーカーをA360に接続するには、Y字ケーブルが必要となります.

モニタースピーカーにXLRの端子のみが付いている場合は、専用のケーブルを作らなければならないことがあります。各モニタースピーカーのXLR端子にアンバランスの信号を正しく接続する方法の詳細は、スピーカーの取扱説明書を参照してください。

## Mono Mix Out出力の接続

A360には、3.5mmと6.3mmのステレオ出力の他、常に使用可能なモノラル出力端子が付いています。 単独に使うことも可能であり、ステレオ出力と合わせてサブウーファー、低音振動チェアなどに接続する ことも可能です.

P 注意: Mono Mix Outの出力レベルは、A360のMASTER VOLUMEノブによって調整され ます。ステレオミックス出力端子を使用していない場合でも、マスターボリュームが 下がっていればモノラル出力端子から信号が出ません。.



モノラル出力をするには、MASTER VOLUMEを上げなければなりません.

#### モノラル・スピーカー

A360をウェッジやパワードモニターなどのモノラルデバイスに接続する場合は、Mono Mix Outは大変 便利です。ステレオ出力端子を使用しているかどうかはともかく、Mono Mix OutのXLR端子 (バランス) からは、A360のミックスをモノラルにして出力します.



Mono Mix OutとパワードウェッジのXLRケーブルによる接続

モノラル出力をするには、特別な設定は要りません。入力モジュールのステレオ設定やパンニングはともかく、A360は自動的にステレオ信号をモノラルにサミングします.

#### サブウーファー

演奏者のモニターミックスにサブウーファーを加える場合は、Stereo Mix Out端子及びMono Mix Out 端子を同時に使用しなければなりません。ヘッドホン、有線インイヤーヘッドホンや無線ヘッドホンの親 機をStereo Mix Out端子に接続してから、XLRケーブルを使ってMono Mix Outをサブウーファーのライ ン入力端子に接続します。.



ヘッドホン及びサブウーファーをA360に接続した場合.

低音振動チェア

低周波数を出力するために設計されているサブウーファー以外にも、低音出力デバイスの種類がもう1つ 存在しています。これは低音振動チェア(「ベースシェイカー」)であり、製品によって「バットキッカー」 または「スローンシェイカー」とも呼ばれます。

多くの場合は、こういうデバイスの出力周波数は500Hz未満であり、ヘッドホンやインイヤーモニターと 一緒に使用されます。A360でそれを実現するには、ステレオミックス出力及びモノラルミックス出力の 端子を両方使用します。

ヘッドホンをSTEREO MIX OUTに接続し、シェイカーデバイスをXLRケーブルでMONO MIX OUTに接続 します。シェイカーデバイスがバランスXLRに対応しない場合は、別途アダプターが必要になります。.



A360にインイヤーモニター及びドラム・スローン・シェイカーが接続されています.

単独にモノラル出力端子のみを使用する場合と同様に、ステレオ出力に対するモノラル出力のレベルは、MASTER VOLUMEノブによって調整します。.